

# 防災の日・防災週間 家庭で地域で防災対策

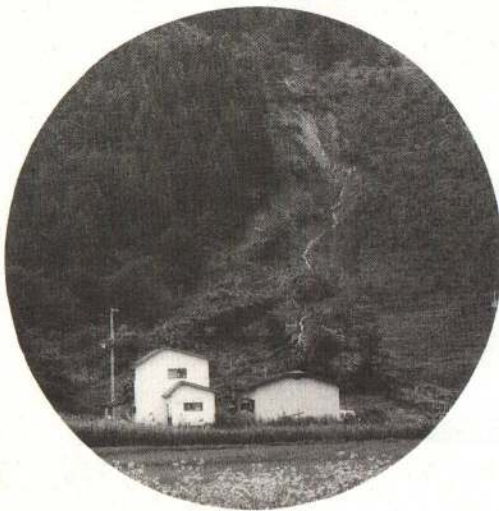
「天災は忘れたころにやってくる」といわれます。地震はいつ起こるかわかりませんし、台風や大雨など、自然は時にすさまじいまでの力で私たちの暮らしを脅かします。常に災害に対する十分な心構えをもって万全の備えをしておくことが必要でしょう。九月一日は「防災の日」です。

## 地震

グラグラつきたら「それ逃げる！」と本能的に行動したくなりますが、これはいけません。外へ飛び出したとたん、ガラスや壁などが降ってくる可能性があります。あるからです。すばやくテーパー

ルやベッドなどの下に身を隠すのが一番。その際は、座ぶとんや本などで頭を守りましょう。地震のときに最も気を付ける

ことは、火を消すこと。火災という二次災害が発生すると、大惨事になってしまいます。「地震だ！火を消せ！」と叫ぶことは、自分を冷静にするきっかけになり、家族や隣近所への呼びかけにもなります。地震が起きたら火を出さない、また万一火が出て初期のうち



7月16日からの大雨により、東台の山では土砂崩れが発生。市内各地で被害が

## 台風・大雨

九月は台風のシーズンといってもいいでしょう。そしてこ



油の流出事故等を想定したオイルフェンス設置訓練（8月21日・長木川白鳥飛来地で）

れからの台風は、秋雨前線を活発にさせて大雨を降らせることが多いといわれます。

台風や大雨に対しては、次のようなことにご注意ください。

- ▽ 家屋の補強は早めにして、風による被害を最小限に抑える
- ・ 屋根・雨どい・窓・外壁
- ・ 看板・アンテナ・庭木など
- ▽ 気象情報をよく聞いて、外出は極力避ける
- ▽ 火の元は厳重にチェック
- ▽ 非常持ち出し品を用意する
- ▽ 土砂崩れ、家屋への浸水などの恐れがないか、家の周囲に日ごろから気を配る
- ▽ 地域の避難場所を家族と確認しておく

「備えあれば憂いなし」といいます。備えは怠りないように！

## 用件は正しくあわず119番



### 救急車を呼ぶときのポイント

- ①ダイヤル119番を回す
- ②「救急車」と言う（急病かケガかも言う）
- ③事故などの発生場所と近くの目標を言う（△町△番地、○○小学校付近など）
- ④病人、ケガ人の数と容態（簡単に）を言う
- ⑤自分の名前と電話番号を言う

大館市では救急車の年間出動回数がどれくらいになっているかご存じですか？ 一九八七年から九〇年までの平均は何と九百五十八回。毎日二、三回の出動があったことになりました。そして今年も、七月までで既に五百六十六回を数えています。

昼夜を問わず、私たちのいのちを守るために駆け付けてくれる救急車ですが、皆さんはどんな場合に「119番」しなければと考えるでしょうか。また、電話する際は当然緊急を要する場合なはずですが、あわてずに要領よく事態を告げられるでしょうか。消防署の話では、近年出動回数が増加傾向にあるものの、出動してみたら自分で病院へ行けると思われる人も少なくないとのこと。そして気になるのは、行ってみると簡単な応急処置さえ全くしていない場合が増えてきていることだそうです。通報にしても応急処置にしても「正しくあわてず」が肝心といえます。

九月九日は「救急の日」です。私たちの周りで、いつ急病人やケガ人がでるか分かりません。私たちのいのちを、救急医療が守ってくれています。